事例No.	1985
公表年度	R4
団体の属性	町村
団体名	鳥取県智頭町

事例区分	DX

タグ	・新たな政策手法の確立・活用 ・ICT ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	地域活性化

事例内容・タイトル

コネクテッドカーを活用した出張型行政サービスの提供

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

05 コネクテッドカーを活用した出張型行政サービスの提供【鳥取県智頭町】

事業の概要

○ 智頭町は、谷が多く集落が点在しているという地域特性により、交通基盤が脆弱なエリアがあり、行政サービスが行き届きにくいという課題がある。

○ そこで、５Ｇに対応したコネクテッドカーで集落を巡り、福祉、防災、観光など、住民のニーズに応じた様々なサービスを提供することとした。

○ コネクテッドカーとは、ICT端末としての機能を有する自動車であり、民間ではその機能を緊急時の通報や車両の追跡等に活用している。町の場合には、キャリア閉域網を活用し、行政系ネットワークへ接続することで、行政サービスの提供が可能になる。



【提供予定サービスの例】

・ロコモ・フレイル予防に係るサービス
・災害時のリアルタイムでの情報共有
・デジタルコンテンツ(e-スポーツ等)を活用した５Ｇ体験や観光バーチャル体験による移住促進、地域の魅力PR

【参考情報①】 人口：0.7万人
関連URL： ー

【参考情報②】鳥取県Society5.0地域出張型サービスモデル事業補助金（鳥取県）とは
URL：https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1235809/7.pdf

もっと知りたい！ 担当者にインタビュー



（総務省）

取組の経緯・きっかけを教えてください。

広い面積に集落が点在する本町の地理的特性上、十分なサービスが行き届かないという課題がありましたが、鳥取県から本事業の紹介をいただき、導入に至りました。



（智頭町）



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？

令和３年度鳥取県Society5.0地域出張型サービスモデル事業補助金（1/2、上限750千円）を活用しました。





今後の活用の可能性や展望を教えてください。

これまで行ってきたマイナンバーカードの出張受付や、介護予防システムの利活用、イベントの動画配信、e-スポーツ事業を引き続き実施するとともに、百人委員会や地区振興協議会などに携わる地域住民の皆様からの発想を広く募集し、柔軟に活用していきたいと考えています。



★担当：智頭町企画課★

令和3年度事業費 15,078千円
（うち、鳥取県Society5.0地域出張型サービスモデル事業補助金（鳥取県） 750千円）